

ポスターセッション

	発表題目	発表者名 (○：コアタイム発表者)
A – 学術研究部門		
A-1	文化的景観の価値の把握と共有におけるフェノロジー カレンダーの有用性 ～北海道美瑛町を対象として～	○麻生美希 (九州大学)、真板昭夫、村上佳代 (北海道大学)
A-2	表参道沿道地区(景観形成特定地区)の現状について *	○安座間愛、関根理恵 (江戸川大学)
A-3	坂東市の文化的景観について *	○鈴木淳史、関根理恵 (江戸川大学)
A-4	博物館とその周辺環境に関する研究 II *	○岡野瑛莉、関根理恵 (江戸川大学)
A-5	伝統文化継承装置としての花街が有する文化的景観 に関する研究 -新潟市古町・八王子市中町を参考事例として- *	○久保有朋 (新潟大学)
A-6	赤と緑と青のシマ―沖縄うるま市津堅島― *	○島本多敬、加藤叡、喜馬佳也乃 (京都府立大学)
A-7	照間知ってるま！？～ビーグの見える風景～ *	○豊田祥子、宮下遥、近藤史昭 (京都府立大学)
A-8	筑波研究学園都市の半世紀 -1960年代に形成された都市景観の現状分析- *	○浅野棕子、関根理恵 (江戸川大学)
A-9	埼玉県ふじみ野市砂川堀周辺の景観 *	○小川明乃、関根理恵 (江戸川大学)
A-10	熊谷の歴史的建造物と緑の共存する文化的景観の提案 *	○五百井美智子、関根理恵 (江戸川大学)
A-11	原発被災地における文化的景観 -福島県南相馬市小高区上浦行政区を事例として- *	○太田慈乃、萩原拓也、李美沙、益邑明伸、川田さくら、 黒本剛史 (東京大学)
A-12	越谷市景観計画および景観条例と現状について -元荒川沿川特定地区の下流区間を中心として- *	○笹内真、関根理恵 (江戸川大学)
A-13	河岸における文化的景観に関する研究 ii -『Paris, rives de la Seine』を事例として-	○関根理恵 (江戸川大学)
A-14	豊岡市竹野浜地区 道から見るなりたちと生活空間 *	○縄田諒、工藤和美 (明石工業高等専門学校) 本宮由紀子、小浦久子 (神戸芸術工科大学)
B – 地域活動部門		
B-1	文化的景観の中から生態系サービスをひき出す -馬瀬里山ミュージアムを事例として-	○小川智哉 (下呂市役所馬瀬振興事務所 地域おこし協力隊)、 天池信正、小池永司 (馬瀬地方自然公園づくり委員会)、 柳沢直、嵯峨創平 (岐阜県立森林文化アカデミー)
B-2	地域連携による文化的景観活用について	○板垣泰之、岩隈大樹 (岩手県金ケ崎町地域おこし協力隊)
B-3	川を見守るための抛りどころをつくる -黒尊川の地形調査-	○松熊修吾、西山穂、國廣聡志 ((株)西日本科学技術研究所) 、川村慎也 (四万十市教育委員会生涯学習課)
B-4	出水によって連鎖する集落 -香川県善通寺市下吉田町における千年村調査報告-	○福嶋啓人 (京都工芸繊維大学)、菊地暁 (京都大学)、 庄子幸佑 (香川県)、前川歩、恵谷浩子、本間智希 (奈良文化財研究所)

※タイトルうしろの「*」はベストポスター賞 (若手研究者) 選考対象

受賞ポスター

選考対象となったポスターは学術研究部門（若手研究者）12題、地域活動部門 4 題であった。文化的景観研究集会（第8回）ポスターセッション選考委員会において、1）ポスター内容の充実度、2）ポスターの見やすさ・わかりやすさという観点から選考をおこない、以下の通り各賞を決定した。

○ベストポスター賞

学術研究部門（若手研究者） 3題 （ポスター番号順）

照間知ってるま！？

～ビーグの見える風景～

豊田祥子 殿 宮下遙 殿 近藤史昭 殿（京都府立大学）

原発被災地における文化的景観

－福島県南相馬市小高区上浦行政区を事例として－

太田慈乃 殿 萩原拓也 殿 李美沙 殿 益邑明伸 殿 川田さくら 殿 黒本剛史 殿（東京大学）

豊岡市竹野浜地区 道から見るなりたちと生活空間

縄田諒 殿 （共同発表者：工藤和美 殿）（明石工業高等専門学校）

本宮由紀子 殿 （共同発表者：小浦久子 殿）（神戸芸術工科大学）

地域活動部門

2題 （ポスター番号順）

文化的景観の中から生態系サービスをひき出す

－馬瀬里山ミュージアムを事例として－

小川智哉 殿（下呂市役所馬瀬振興事務所 地域おこし協力隊）

天池信正 殿 小池永司 殿（馬瀬地方自然公園づくり委員会）

柳沢直 殿 嵯峨創平 殿（岐阜県立森林文化アカデミー）

川を見守るための拠りどころをつくる

－黒尊川の地形調査－

松熊修吾 殿 西山穂 殿 國廣聡志 殿（(株)西日本科学技術研究所）

川村慎也 殿（四万十市教育委員会生涯学習課）